

「活動タイム」

週1度木曜日をロングの昼休みとし、学級担任と児童と一緒に遊ぶ時間を設定しています。どんな遊びをするか学級会で話し合っており決めています。子供たちはこの日をとても楽しみにしています。

中村孝校長先生
に聞きました

「七郷小学校はどんな学校ですか。」

七郷小学校は、歴史と伝統があり、温かい地域の方々や保護者の皆様に支えられた学校です。児童たちは、明るく素直で、一生懸命に勉強、運動に取り組んでいます。また、本校の児童はあいさつをとてもよくします。児童数が少ない分、学年を超えた交流も深く、ほとんどの児童が全校児童の顔や名前を覚えていてます。



中村孝校長先生



農業体験の様子

志賀小の特色のある取組

「チャレンジタイム」

火曜日と木曜日の業間に行っている体力向上が目的の取組です。一学期はダッシュとボール投げ、二学期は持久走の練習、三学期は縄跳びに取り組みます。

「さわやかタイム」

月曜日の業前と水曜日の昼休みに、各学年1〜2名で構成する縦割り班「さわやか班」で、遊んだり集会活動を行ったりします。

「読み聞かせ」

各学年、月に1回、ボランティアさんに本を読んでもらいます。

「朝学習」

火曜日と金曜日の業前に行い



全校児童の似顔絵と名前が掲示されています

「小中一貫教育について教えてください。」

玉ノ岡中学校から英語と数学の教員が、指導補助のために派遣されています。

さらに、スクールソーシャルワーカー1名と、さわやか相談員1名が非常勤で配置されており、学力の向上だけでなく、心

嵐山町立
志賀小学校

学校の歴史

志賀小学校は昭和54年に菅谷



さわやかタイム

平博之校長先生
に聞きました

「志賀小学校はどんな学校ですか。」

まず、学力の向上が狙いです。用意された問題に取り組み、学習ボランティアさんに丸付け等の支援をいただいています。

志賀小学校の校舎は、自然に囲まれた立地で、ガラス窓が多く明るい日差しが差し込みます。児童数の減少で多目的室が増加しましたが、少人数指導等で有効に活用しています。

本校は元気で明るく運動好きな児童が多いことが特徴で、新体力テストでは、県平均を上回ることが目標です。

また、学校行事や合唱コンク

の健康のためにも、手厚い配置がなされています。

「地域・保護者との連携について教えてください。」

本校は校区が広く、通学時間が長い児童や、人家のない所を通ってくる児童もいます。学校では、交差点での立哨指導や、下校時の付き添い指導をしていますが、児童の安全確保に大きく尽力いただいているのは、地域の方々です。

各方面から学校に向かってくる通学班には、毎日必ず地域の方々が付き添ってくださり、交差点での横断の安全確保等を行ってくださっています。深く感謝申し上げます。

地域の方々にご協力をいただいている活動は、枚挙に暇がないほどです。児童の豊かな心づくりに、多くのお力添えをいただいています。今後もうぞよろしくお願いいたします。

教育目標
進んで学習する子
じょうぶで明るい子
力を合わせて
やりぬく子

小学校より分離開校しました。以来、38年間に2,474名の卒業生を送り出しています。



平博之校長先生

ールでは透き通る歌声を響かせ、「志賀小学校の児童は歌が上手」と地域の方から評価いただいています。

行事の後には友達のいいところを書き掲示するなど仲間を大切にしている教育を行っています。

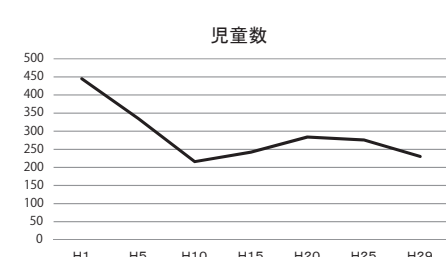


友達のいいところを書き、掲示してあります

「小中一貫教育について教えてください。」

現在、「嵐山町小中一貫教育推進事業」の委嘱を受け、中学校と職員の交流を行っています。今年は玉ノ岡中学校から英語と数学の教員が週に二回

児童数の推移



児童数は、開校3年目の昭和56年、670名をピークに減少傾向にあります。クラス数は、ここ数年、単学級の学年が増加しています。

学級数

学級数は現在全体で11クラスです。1年生と5・6年生が2クラスで他の学年は1クラスです。

施設の現状

施設は、耐震工事や改修を行っています。耐震工事や改修を行っています。耐震工事や改修を行っています。

しかし、きれいな学校で気持ちよく勉強しようと、高学年が中心となり、掃除「雑巾がけ」に力を注いでいます。6年生が雑巾を手のひらサイズに折り、膝をついて心を込めて丁寧に手を動かす姿を、下級生が真似て実践しようと努力しています。

登下校の安心・安全

登下校見守りボランティアの皆様のご協力で、子供たちの『安心』『安全』を確保しています。

また、毎年交通安全教室を開き、道路の渡り方や自転車の安全な乗り方について学びます。

地域・保護者との連携

地域・保護者との連携により様々な取組を行っています。学校応援団として、農業体験・除草作業・学習指導支援・図書整理・音楽指導・珠算・おかし遊び・オオムラサキ越冬調査、PTA活動等も行っています。

すつ来校し、授業を小学校職員と一緒にしています。

「地域・保護者との連携について教えてください。」

地域、保護者の皆さんの支援をいただき、おかげで子どもたちの学習が充実したものになっています。学校応援団の皆様には、色々とご協力をいただき様々な学習を行っています。

また、ボランティアの皆様に登下校の見守りなどを行っています。ただいているおかげで、子どもたちが安心して通学できています。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

これからの学校のあり方について

学校は、一定規模の集団で活動することを通して、子供たちに「確かな学力」、「豊かな心」、「心と体の健康」、「体力の向上」等を確実に身につけさせ、自立した人の育成を目指す教育の場です。学校においては、子供たちが集団での活動の中で、同じ価値を共有したり、自分と違う考え方や違った個性と向き合う経験を通して、お互いが切磋琢磨し、刺激し合い、ともに成長することが出来ます。

しかし、現在人口減少や少子・高齢化の影響により児童数の減少が続いており、今後も減少傾向が続くものと推定されます。これにより、集団教育の良さが活かされにくくなるとともに、教職員などの配置数が減り、学校運営や児童生徒の指導に難しさが生じてきます。

町では、今年度から「嵐山町立小中学校規模と配置の適正化に関する基本方針」に関する審議を行っていく予定です。審議後は、保護者、学校関係者、地域住民、関係団体等への説明会を行い、説明会で出された意見等を踏まえながら、「嵐山町立小中学校規模と配置の適正化実施計画」を策定していくこととなります。

今後、ますますグローバル化する社会において、この国の未来を担う子どもたちにとって望ましい学校の教育環境の整備や学習施設等の充実を図っていくことが責務と考えています。

問合せ 教育委員会教育総務課 学校教育担当 ☎ 62-00823



高学年が中心となって取り組む雑巾がけの様子